

掛川市立総合病院・看護部教育委員会

# nurse cap ナースキャップ

教育だより  
No.33

平成14年4月30日

## NEW!! 新教育コース 出発



看護部部長 杉山登志子

平成五年から年令別コースを設けスタッフ全員がそれぞれのコースに所属し、学習する方法を実施している。年間目標を持ち担当者や学習者が一体となりどのコースも成果をあげている。さらに当院看護部として生涯学習を続ける姿勢も培われたと判断し、年令別コースは十三年度で廃止した。平成十四年度からはエルダー、ヘルパー、パートナーナースの三コース以外は選択コースとし、固定チームナーシング、看護記録、フィジカルアセスメント、事例検討、接遇

の五コースを設けた。卒業後七年以上の看護職員全員がそれぞれ希望するコースに所属して学習をしていくようにした。

### 十四年度の目標

- 1 各コースで積極的、主体的に学習する。
- 2 チームワークを大切にする。

一年間おめでとう。頑張ってください。



**看護記録**

あなたの書いた看護記録を  
患者様に見せることが  
できますか？

目標：看護記録は患者様のものでは  
あるということがわかる

**フィジカル  
アセスメント**

入門フィジカル  
アセスメント

目標：フィジカルアセスメント  
が理解できる

**事例検討**

“私の看護”  
これでいい？

目標：事例検討の方法を知る  
グループワークを通して  
自分の看護を振り返る

**SOCCER****GOAL!!****接遇**

学ぼう。笑顔がとりもつ  
素敵な出会い

目標：接遇のテクニックを  
楽しく学ぶ

**固定チーム  
ナーシング**

あなたの手で  
看護が変わる

目標：当院で行われている固定  
チームナーシングを知り  
自分(自所)の目標を明  
確にし行動できる

**新生涯学習コース**

教育委員 **60** 年間

1952年10月1日

◎ 服部 幸子

長いようで短い60年間が終了  
した。親子程の年齢差の学習者  
と一緒にやっていたのは大変  
だったが、私の看護師人生を考  
えると得るものが多い年月で  
あった。学生とは違った若い新  
鮮な意見に、自分がどの程度成  
長したかは不確かではあるが、  
逆に育ててもらった気がする。  
基礎コースで一緒だった看護師  
さん、ありがとうございます。そして今後  
もよろしくお願ひします。

◎ 石田 幸子

若い看護師さんと共に勉強し  
ていこうと思ひ教育委員にさせ  
ていただいたのが6年前。初め  
は何をしていいのかわからず、  
先輩方に、おんぶに抱っこで何  
とかごまかまいました。何  
成長したのではと思つていま  
す。教育委員は卒業しますが、  
これからは皆様の成長を見守っ  
ていきたいと思ひます。ありが  
とうございました。



ちやうどホッとさせるはなし

劇団四季の感動をあなたも味わおうか?

# 親子で楽しむミュージカル

3京 山田 貴江

みなさんは、小学生の頃、劇団たんぼの演劇をみたことがありませんか。何もない体育館のステージに次々と道具が並べられ、大きな声で役を演じる役者さんの姿に感動させられたことを今でもはっきり覚えています。その頃から私は、舞台を見るのがとても好きになりました。

そんな私が劇団四季に出逢ったのは就職して間もないころです。数人の仲間と「キャッツ」というミュージカルを観に行きました。猫のスタイルをした役者さんたちが、個性あふれる表現力で歌とダンスでストーリーをひびひびと響かせていきます。気がつくともステージに夢中であつたという間に二時間が過ぎ、感動で胸がいっぱいになっていました。それ以来、四季の舞台に何回か足を運んでいます。舞台によって、歌が中心だったり、ダンスが中心だったり、ストリーが楽しかったり、舞台装置がばらしかつたり、感動の場面はさまざまですが、いつも、「これでまたがんばるぞ」と、エネルギーをもらって帰ってくるような気がしています。

最近では、小学生になる三人の子供たちといっしょに四季のファミリーミュージカルを見に行くのが楽しみになっています。子供たちも四季のミュージカルが大好きです。一緒に笑ったり、感動したり、親子で共通の話題をもてるっていいことだなと感じています。みなさんも、一度観に行ってみませんか。



**NEWFACE**  
新しい風を期待します!  
新採用者25名

**部署別固定チームナースINGK研修会**  
杉野元子先生をお迎えして H14.2.25~26

早出朋美(2階東)	鈴木恵美子(4階東)
一色有紀子(2階東)	内山愛乃(4階西)
藤森美裕(2階西)	山下留子(4階西)
大橋あさこ(2階西)	池田梨沙(4階西)
鈴木友香(2階西)	氏原美乃里(5階東)
佐々木結美(3階東)	内藤珠美(5階東)
高森絹代(3階東)	高橋広恵(5階東)
塚田千鶴(3階東)	片桐弥生(5階西)
山本訓子(3階西)	鶴崎愛加(5階西)
桑田裕美(3階西)	石田小麻希(5階西)
甲斐美穂子(4階東)	鈴木三果(OP室)
佐々木智絵(4階東)	浦崎知江
寺田さち子(4階東)	(観センター)

看護支援システム導入  
むけて、パソコン特訓中

**よろしくお願ひします**



# 私の参加した研修

—臨床指導者研修に参加して—

青森大学  
芝本 見佳子

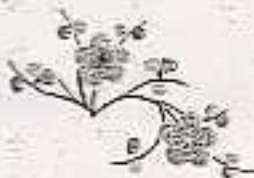


昨年9月から12月まで40日間と長期に渡った研修を終え、早秋カ月が経ちました。研修の頃を振り返ってみると、県内各病院から集まった79名の受講生を始め、30名近い講師の先生方、実習指導案作成のための1週間に渡るグループワーク担当の先生方、研修担当の委員の方々との出会いがありました。

講義では、看護や実習指導に関する内容だけでなく、医療・保健・福祉・教育・心理といったさまざまな分野についても学ぶ機会となりました。これらの講義により、実習指導者としてだけでなく、日ごろの看護師としての自分や、人間として、親としての自分などを改めて見つめ直すことが出来、今後に活かしていきたい学びが数多くありました。また、看護過程や実習指導案の作成などグループワークする時間が多く、コミュニケーションの重要性や、グループ全員で一つのものを作り上げる達成感を実感することが出来ました。

現在私は、実習指導に関わりを持ち始めたばかりですが、講義の中で

特に、自分が印象に残った内容を挙げます。「指導者は学生に対し、教師的役割でなく援助者として関わる。学生が今何を知らたいのか、それをタイミング良く知って指導してあげる。」良い指導は、学生が主体的に過ごせる(気づく、学ぶ)為の援助が出来ること。「これらを頭に置き、試行錯誤して行きたいです。」



## 編集後記

今年の春はやけにハイスピードでやって来ました。しかし世の中のトレンドは、スローライフ、スローフードとゆっくり系にかたむいて来ているようです。毎日今年の春以上の速さで仕事をしているとこの世界のハナシ?という気がするのですがやはりここらで考え直し、私の生活を見直す必要もあるのでしょうか。

西 久保田

# やてみらいのびなの

- 外 来
- 留 学 中 校 生
- 二 東
- 二 西
- 三 東
- 三 西
- 四 東
- 四 西
- 五 東
- 五 西

みんなで作った外 来 固定チームナースングを行動に移す役割を自覚して行動でき、チーム目標が達成できる現状のチームを評価し、固定チームナースングの機能が果たされているか知る。データベースから患者の特性をつかんだチーム編成ができる。固定チームナースングを導入し、活発なチーム活動ができる。

継続受け持ちを行い、責任ある看護を提供する。安心と安全な看護を提供する。あなたのケアは私にまかせて！

チーム活動の充実をはかる。パートII 患者さんが決めたゴールを援助する。各チームで患者様に起こりやすい不安や苦痛を研究を通して和らげる。

一、他部門と協力して治療、看護を提供できる体制作りをしてクリティカルパスを作成する。二、クリティカルパスを活用して看護援助に取り組み信頼される看護をしよう。

チーム目標の発表会を開催しよう。早期離床を回るために安全な看護を提供しよう。